プロジェクトホスティングサービスのためのEVM自動描画システムの開発

プロジェクトマネジメントコース　矢吹研究室　0842062　工藤　亮

1. 研究背景

ソフトウェア開発はバージョン管理システムを用いて行われるのが一般的である．バージョン管理システムを提供するサービス（以下，プロジェクトホスティングサービス）も数多くある．

ソフトウェア開発プロジェクトの中心にバージョン管理システムをおくことができる．そのような開発体制においても，一般的なプロジェクトと同様に，PMBOKで提示されているようなマネジメントの活動がプロジェクトホスティングサービスでサポートされることが望ましい．

プロジェクトマネジメント（以下，PM）において，プロジェクトの進捗状況や進捗に係わるリスクを把握するためにEVM（Earned Value Management）が用いられる．EVMは，プロジェクトを計画通りに進行させ，進捗状況に対応した判断を行うのに必要であり重要である．しかし，GitHub（プロジェクトホスティングサービス，Gitを提供するサービス．ギットハブ）のような既存のプロジェクトホスティングサービス上では，EVMを見ることはできない．そのため，バージョン管理システムを用いるプロジェクトマネジャーは，計画時のデータと進行中の進捗データを取り出して，別々に処理することによってEVMを描かなければならない．

1. 研究目的

GitHubのデータからグラフ制作ツールのGoogle Chart APIとブックマークにJavaScriptによる特定の動作を仕組めるブックマークレットを利用し，自動的にEVMを描画するシステムの開発を目的とする．GitHub上で自動的にEVMを描画するシステムを開発する．

このシステムにより，プロジェクト関係者がプロジェクトの進捗状況を手軽に把握できる．その結果，作業の遅延の対応（リスク・マネジメント）やスケジュール管理（タイム・マネジメント）が効率よく行えるようになることも期待できる．

1. 研究方法
2. Issuesに記述する内容は，「タスク名」「タスク期限日」「計画予定時間数」「時給金額」「材料費」「直接労働時間数」「進捗測定基準度」「使用材料費」を記述する．
3. （1）の記述内容を英語で記述し，各項目の表示方法は「タスク名（title:タスク名）」「タスク期限日（end:年-月-日）」「計画予定時間数（time:時間数）」「時給金額（rates per hour:金額）」「材料費（material costs:金額）」「直接労働時間数（direct hours:時間数）」「進捗測定基準度（measure work in progress:基準度）」「使用材料費（material costs:金額）」を記述する．
4. （2）の記述内容をプログラムで取り出し，Google Chart APIでグラフにし，ブックマークレットでGitHubのページに埋め込み，グラフを表示する．
5. 研究結果

EVMに必要なデータを，Issuesでプロジェクトマネジャーは，「タスク名」「タスク期限日」「計画予定時間数」「時給金額」「材料費」を入力し，メンバーが「直接労働時間数」「進捗測定基準度」「使用材料費」をIssuesに入力する．そして，そのデータをGitHub APIによって抽出し，抽出したデータからGoogle Chart APIとブックマークレットによって以下のようなEVMグラフをGitHub上で描画することができる．

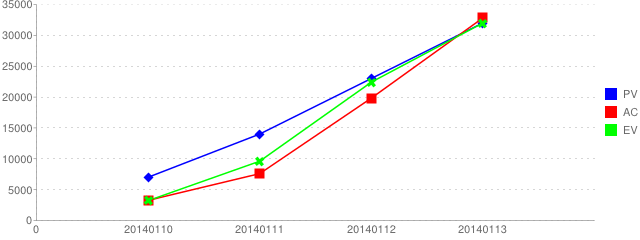


図1　システムによる描画するEVM

1. 結論と今後の課題

本研究の目的としたシステムの開発はできた．このシステムを利用することにより，プロジェクトの進捗状況を手軽に把握することが可能になり，作業の遅延対策に貢献できると考えられる．

今後の課題として，タスクのみやメンバーごとの細かい設定が必要なEVMを作成するためには，システムの改善が必要と考えられる．

参考文献

[1] Project Management Institute,Inc. プロジェクトマネジメント知識体系ガイド. 第4版. Project Management Institute,Inc, 2008, 181p-183p.